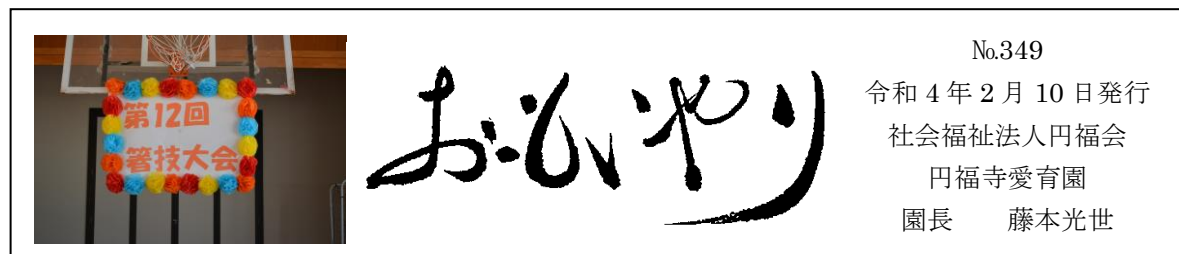


園内行事として、箸技大会を開催しました。誰がキングになるのか、大いに盛り上がりました。



子どもの近況

園長 藤本光世

コロナ禍

新型コロナウイルスの第六波が襲ってきて、その急激な感染拡大に驚いています。そしてこれまで以上の感染防止の対応をお願いしています。これまでは、園にコロナウイルスを持ち込む可能性があるのは、私を含めた職員でした。職員が外出等でウイルスを貰ってこないように注意することで、子どもたちの安全は保たれると思っていました。

ところが第六波は学校で感染者が出ているのです。子どもたちがウイルスを貰ってこないように、最悪の事態を想定して一人が罹っても、他の子どもたちが濃厚接触者にならないように、そして罹らないように日常の園内生活のマスクの着用をお願いしました。そして一日に三度の高頻度接触面の消毒をお願いしました。更に食事は黙食で離席をせず短時間で食べ終わるようにお願いしました。

職員とたくさん甘えられる楽しい食事の時間が、シーンとしてひたすら食べるのは、永平寺の修行道場で経験したとはいえ、淋しそうです。でも、子どもたちはお替りの時もマスクを着用するなど、本当に良くお願いを聞き入れてくれてあります。ありがたいです。

長野市の感染者急拡大を受けて、学校は臨時休業や分散登校になりました。一昨年の臨時休業と同じです。時間割を組んで学習時間と遊ぶ時間を分け、メリハリを持った生活に努めています。

職員が一生懸命関わってくれているのがありがたいです。

雪かき

今年の冬は寒くて雪が多いです。雪が降ると子どもたちは朝早く起きて、おまいりの前に広い道路と駐車場の雪かきをしてくれます。

1月21日の朝は大雪で、20cm程積もったでしょうか。私がお寺の境内や道路を雪かき



して六時のお参りに行くと、隣接する幼稚園の駐車場まできれいに雪かきしてありました。私の隣に座った小学校2年生のわんぱく坊主に雪かきしたの？と聞くと笑顔で応えてくれました。職員のお話では朝5時15分には起きて雪かきしてくれたとのこと。えらいなあと思います。道路を通る人も、車を停める人もみんな喜んでくれるでしょうね。こうして地域と子どもたちがつながります。嬉しいです。

第12回 箸技大会

平成23年に箸ピー大会として始まった大会は、昨年箸リンの競技が加わって箸技大会となりました。クリスマスが終わってから、練習が始まりました。永年の経験がありますから、子どもたちの箸技はとっても速いです。そして、みんなやる気満々で、練習に取り組んでいました。

結果は、箸ピーキングがY君(記録 右184 左130 合計314)。これで4回目の優勝かな？ 昨年は入賞もできなかったのに、今年は練習に燃えて30分間の練習に15分前からきて準備をしてくれて、余った時間から練習していたそうです。立派でした。

箸リンキングはTさん(記録 右73 左54 合計127)。今年は優勝を目指して頑張っていました。箸リンはとっても難しいです。

昨年から、団体戦はあおぞらホームとまごころホームの対抗戦にしました。今年は児童戦 まごころ勝利 最終試技者で逆転しました。

職員戦 まごころ勝利

全員戦 あおぞら勝利

で2勝1敗で昨年に引き続いてまごころホームが優勝しました。強いです。

箸ピーも箸リンもキング戦は試技の合計が多い人から8人が選ばれて、1回勝負です。ピーナツを落とすと負けです。心の強さやこの一番に実力を発揮できる力も試されます。子どもたちは真剣に取り組んでくれました。緊張感ある勝負を通して、子どもたちがさらに成長するように祈っています。

箸ピー、箸リンについては、国際箸学会のホームページをご覧ください。

<https://www.kokusai-hashio.org/index.html>



第12回 箸技大会

主任指導員 富沢正樹

愛育園の冬の風物詩となっている箸技大会が今年もやってまいりました。12月に練習が始まると、みんな真剣なまなざしで、一心不乱に箸で豆をさばき、集中した1分間が連続します。

「年々レベルが上がって、平均や最高記録が回を増すごとに更新されていっています。」と、毎年書かせて頂いていますが、今年もそうでした。この競技は一体どこまで記録が伸びていくのだろうと思うほど、子ども達の無限の可能性を感じます。

それに加えて、今年感じた事は男の子たちの頑張りです。今までの様子を見ると、どちらかというと女の子の方が練習熱心で、どちらかというと練習での記録も良く、去年は個人戦も団体戦も女の子の方に優勝を持っていかれてしまいました。弱点はわかっていました。それは、気持ちのムラが大きくて、気分によって練習を真面目にやったりやらなかった、最初は集中してても少しミスるとすぐにやる気を失ってしまう事でした。今年は、ストレートにその弱点を指摘してみました。「まごころホームに勝ちたければ、練習での集中持続ができるかどうかだよ」と声をかけると、いつもよりも黙々と練習するようになりました。(ちゃんと悔しい気持ちがあっただです)

毎日、緊張感のあるいい練習ができて迎えた本番当日、男の子たちは躍動しました。箸ピー部門では、予選上位8名が進出できる箸ピーキング決定戦には、8人中6人が男の子でした。そして、その中で優勝できたのも中学2年のY君で、見事去年の雪辱を晴らすことができました。団体戦も、惜しくも負けしましたが、今年は寸での所までまごころチームを追い詰める事ができました。男の子も女の子も実力伯仲の仲になり、白熱してきた事で来年がとても楽しみにになりました。

箸技大会は、子ども達にとって生活にハリを与えてくれます。技術を高めるために頭を働かせ、

ロスが無いように一豆一豆に集中し、何よりも強い精神力を試される箸ピーは素晴らしいゲームです。本来であれば、国際箸学会様の主催する箸オリンピック(世界大会)にも毎年招待頂いておりますが、コロナ禍とあって開催困難のご様子で子ども達、職員一同大変残念に思っている所がございます。早くこの騒ぎが落ち着き、箸ピー競技を通して皆さんと交



流できる日を楽しみしております。

第12回箸技大会

あおぞらホーム 石龍成己

今年も1月に、箸技大会を実施しました。12月から毎日練習をしてきました。恒例行事であるので、ほぼ毎回みんな練習を頑張り、大いに大会も盛り上がるのですが、今回コロナ下ということで、実施できるイベントも少ないせいか、練習の段階から黙々と記録を伸ばす事に集中し、例年以上に真剣に記録と向き合う子が多いのが、とても印象的でした。練習時間は



毎回30分で、いつもなら開始時間に丁度に開始したり、動きが遅くて練習時間が延びてしまうことが多いのですが、15分前ぐらいから自主的にしゃべらないという条件で練習する者、少しでも多く練習するために準備・片付けを頑張る者、いつもなら豆を落としてしまうと必ず拗ねてしまう子もいましたが、今回はほぼいなく、今まで見てきた中で、本当に1番集中して取り組んでいたと思います。特に今までに箸ピーキングにもなったことのあるY君。いつもならそこまで練習の準備・片付けや時間前の練習に積極的ではなかったのですが、今回は本当にとてもよく動いていました。本当であれば、部活で参加すらわからなかったのですが、ほぼ活動できなくなったことで、箸技大会に気持ちが向いていたのかもしれませんが、しかし、集団で生活している特性か、誰かが頑張ろうとすればするほどまわりに良い影響を与え、最初は一人率先して動く所から、まわりが影響され、みんな気持ちを一つにする要因になったのではないかなと思います。まわりの子たちも、今大会を通して、本当に急成長したと思います。特に驚きだったのが小4のT君です。T君は私と同じく箸ピーにであって丁度4年で、最初は右手では100を超えるかどうかで、私とどっこいどっこいだったのですが、練習中150を超えるかどうかの瀬戸際で戦っていました。左手も100を超えてくるかどうかでした。以前のレベルの箸技大会だったら、キングも狙えたかもしれないくらいのレベルに成長しました。このままいけば来年はキング決定戦に出れるかもしれませんね。今年から始めて箸ピーをやる子もいましたが、まわりに少しでも近づこう、記録を伸ばそうと真剣に取り組むことができました。

そして本番当日、準備からリハーサルまでの流れも良く、みんな良い集中力で開会しました。

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

本来ですと、職員がゲストとして登場して一発盛り上げる事もしていましたが、急きょ本番前は良い緊張感・集中力を維持させてあげようということで、閉幕で行う事に決まりました。本番独特の緊張感があり、思うように記録を残せない子もいたようですが、あおぞらからは多くの子たちが KING 決定戦に残る事ができました。昨年は、上位をまごころの子たちに持っていかれる事もあって、今年は本当によく頑張ったなと思います。そして箸ピーKING は去年の雪辱を晴らして見事中 2Y 君が獲ることができました。なんと記録は右左合計で 314 個です。今までは 300 を超えるはずがないと言われてきて、300 を超える子が徐々に出てきて、でも決定戦ではなかなか超えられないという状況だった所、出す事ができて本当にびっくりです。年々レベルが高くなっていることに驚かされます。ぜひ今回の頑張りを生かし、コロナ下で生活が大変ではありますが、ハリのある生活に繋げて行って欲しいと思います。



箸技大会 おおぞら 児童感想

1月23日(土) 箸ピー大会がありました。最初につくえやいすをだしてよいしました。1時に開会式をしました。おわったら、練習をしました。箸リンもやりました。今年は、しんきろくがでました。合計233個までいきました。うれしかったです。箸ピーや箸リンを合計4時までやりました。最後にお茶会をしました。温かいお茶やおかしを食べました。おいしかったです。

(小4・T君)



(令和4年2月10日発行 月刊「円福」497号付録)

令和4年1月22日に箸技大会がありました。僕の記録は箸ピー合計259個で、右150、左109でした。箸ピーでは KING 決定戦に出られなかったけど、箸リンでは KING 決定戦に全体7位で出て記録はきんちょうしてしまって、予選より低く、82個でした。悔しかった部分もあったけど、KING 決定戦に出れたので良かったです。

(小5・S君)



1月22日(土)に箸技大会がありました。午前中は準備、リハーサルがあり、午後から箸技大会が開催されました。最初は箸リンで右57、左101の合計101でした。おしくも、箸リン KING 決定戦には出場できませんでした。次は箸ピーで1回目は右168、左115の合計283でした。2回目は右164、左104の合計268でした。箸ピーでは見事箸ピーKING 決定戦に出場することができました。次に団体

戦をやりました。1回戦は児童対決、2回戦は職員対決、3回戦は全員対決をしました。児童対決では途中リードしていましたが、最後のアンカー対決で抜かされてしまい、惜しくも負けました。2回戦職員対決、ここで勝利しなくてはまごころの2連覇されるというところの大事な試合で、いい勝負でしたが、残念ながら敗北してしまいました。3回目全員対決で、負けたことは分かっていますが最後までやろうと必死で頑張って全員で、途中までいい勝負で、最後の7人で逆転し、勝利しました。結果、あおぞら1勝、まごころ2勝でまごころが優勝しましたが、いい勝負となりました。そしてついに、今年の KING が決まる箸リン&箸ピーKING 決定戦が行われました。上位8名がそれぞれの種目出場し、KING と2位から8位までが表彰されます。今年の箸リン KING は T さんでした。自分は箸ピー6位で出場し、結果右159、左106の合計265で7位で表彰されました。今年の箸ピーKING は Y 君ですごいなあと思いました。来年は②位～4位に入れるように頑張っていきたいです。表彰式の後に、ゲストとして、錦鯉となかやまきんに君が来てくれました。とってもおもしろかったのでまた来てほしいです。

(中1・R君)

箸技大会 まごころ 児童感想

1月22日に箸技大会をしました。箸ピーを頑張りました。右手が難しかったです。左手はでき

ました。箸リンも同じで、右手が難しく左手はできました。来年も頑張りたいです。

(小1・K君)



1月22日に、箸技大会がありました。私は、リハーサル時から緊張していましたが、あまり思うように結果が出なくて今年も無理かなと思っていました。大会が始まり、とても緊張し箸ピーの右手の記録が良くなかったので不安でしたが、左手で結果が良く300だったので良かったです。箸リンも右手が上手く

いかなかったけど左手が良かったです。箸リンの記録が134でした。次に、キング決定戦がありました。キング決定戦ではさらに緊張して個人戦の時よりいい記録は出なかったけど頑張れたので良かったです。表彰式では、何位なのかドキドキしました。箸リンで1位と呼ばれたときはとても嬉しかったです。箸ピーは2位でした。もう少しで1位でしたが、箸リンで1位が取れて嬉しかったです。

(中1・Tさん)



1月22日に、箸技大会がありました。最初は、箸リンをやりました。全然緊張せず、練習の時よりも調子が良かったので110という記録を出すことができました。箸ピーは、リハーサルで上手いかず無理かもしれないと思ったけれど、本番では1回目で右手150を超える記録が出てとても嬉しかったです。団体戦では、豆を落としてしまいすごく焦りました。

団体戦の後は、キング決定戦でした。私は、今まで1度も選ばれたことがありませんでした。なので、箸リンの6位で名前を呼ばれたときはとても驚きました。初めてのキング決定戦では、とてもとても緊張しました。でも、116という記録を出すことができました。表彰式では、何位だろうとドキドキしながら待っていました。なんと、箸リン4位でとても嬉しかったです。3位の

記録と1個差だったので次は3位を目指して頑張りたいです。

(中2・Uさん)

1月22日に箸技大会がありました。練習は今年が一番頑張ったので良い結果が本番で出せるように頑張りました。私は、どちらかというと箸リンの方が得意なので、箸リンのキング決定戦に出れるかもしれないと思い練習に励みました。本番では、箸リンでキング決定戦に出場することができました。決まった時は4位でしたが、キング決定戦の結果は3位になることができました。とても嬉しかったです。団体戦では、2勝1敗でまごころチームが優勝出来て良かったです。準備から片付けなどみんな協力して行えた箸技大会だったので良かったです。

(中3・Mさん)



どんどん焼き

あおぞらホーム 山田忍

1月10日、西横田地区のどんどん焼きがありました。事前にあおぞら小学生みんなでお餅をアルミホイルに包み、竹の棒に挟み「お餅焼き装置」を作り持っていきました。どんどん焼きのタワーに愛育園のダルマがあるのを見つけて「一番大きい!」という子もいれば、「早くお餅食べた」という子もいて皆嬉しそうでした、いよいよ点火になり激しく火が付くを見て皆興奮していました。消防団の方からお餅焼きのOKが出て一斉に火の中へお餅を突っ込みましたが何人かは棒自体が燃えてしまい先端に付いていたお餅が行方不明になるという事態になってしま

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

たが消防の方灰の中から探してくれて事なきを得ました、その後焼けたお餅をみんなおいしそうに頬張り、園に残っていた中高生の分も焼いていたのでみんなで分けて神聖な火で焼いたお餅を食べ、1年間の無病息災を祈願することができました。来年のどんど焼きにむけて1年かけてお餅焼き装置をさらに改良していきたいと思います。



あおぞらホーム日より

あおぞらホーム 大山豊彦

寒い日が続く中、あおぞらの子どもたちは元気に雪合戦や鬼ごっこをして元気に遊んでいます。また、雪が降った日には朝早くから起きて、雪かきを手伝ってくれたり、その雪でかまくら作りもしています。季節が変わるごとにそれぞれの季節でしかできない遊びができて本当に毎日が充実しているように感じます。

1月23日には愛育園の中で箸技大会を行い、約2ヶ月毎日練習を積み重ねてきた子どもたちが真剣に競技に取り組んでおり、また大会の準備もテキパキと積極的に動いてくれて、本当にすごいと思いました。愛育園での様々な行事を通して、積極性を身につけ、大きくなってからも人の為に役立つ、そんな子どもたちに少しづつなってくれたらと思います。

最近、コロナウィルスのオミクロン株が急激に流行り出し、中学校や小学校では分散登校が始まりましたが、愛育園でもコロナを入れないように



(令和4年2月10日発行 月刊「円福」497号付録)

子供達、そして職員全員が予防対策にしっかり取り組んでいます。愛育園では一人も感染者が出ないように今後もしっかり予防していくとともに、そんな中でも子どもたちと楽しい時間を作って行けたらと思います。

まごころホーム日より

まごころホーム 宮澤穂香

ふと気が付くと1月も終わりになってしまいましたが、今季は雪の多い冬となり、子どもたちは寒さ厳しい中でも土手でそりすべりをしたり、雪合戦をして元気いっぱい楽しそうでした。スキーウェアで雪の上に気持ちよさそうに寝転び、そんな姿を見て、心身ともに縮まずのびのびと成長してほしいなと思いました。

立春が迫り、春の訪れが待ち遠しく感じます。子どもたちと今年度のまとめ、そして



て来年度に向けて準備をしていきたいと思っています。

調理室日より

栄養士兼調理員 土屋未華

新しい年を迎え、本格的な冬の寒さを感じます。雪が降る日も多く、朝は氷点下になる日が続きます。厳しい寒さに負けず、体調管理を万全に頑張っていきたいと思っています。

元旦の朝には、子供達におせち料理を振る舞いました。苦手な子が多かったようですが2022年も誰一人、病気や怪我をすることなく、元気で楽しく過ごしてもらいたと思います。

1月は5人の誕生日メニューがありました。それぞれ好きなメニューをリクエストしてくれました。そば、天ぷら、抹茶パフェ、カレー鍋、シーザーサラダ、チーズケーキ、カレーうどん、海藻サラダ、フルーツゼリー、カレー鍋、マカロニサラダ、チョコバナナパフェ、味噌ラーメン、餃子、ポテトサラダ、抹茶パフェです。学年が上がっても、誕生日メニューを楽しみにしている子が多いので、



<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

その期待に応えるように、私達調理も腕を振ります。全員でお祝いすることができて良かったです。

1月22日に箸技大会がありました。1ヶ月近く練習をしていた子供達を近くで見えてきました。30分と決められている練習時間ですが、練習の10分前に準備を始めて打ち込む姿勢、真剣な眼差し、時間を有意義に使って、次々と記録を伸ばしていく光景を目の当たりにして、すごいと感心するばかりでした。本番当日は緊張している子も中にはいましたが、幼児さんから高校生まで練習の成果を発揮できたのではないかと思います。結果が全てではなく、練習に励む姿勢や日々の積み重ねも大切だと改めて感じました。お互いの健闘を称え合った子供達は本当によく頑張ったと思います。

まだ不安な日々が続きますが、何よりも一番は子供達が健康でいてくれることです。春になれば、卒園、卒業、入学と環境が変わり、忙しくなるかと思いますが、1人1人が目標とする道、決めた道にどんなことがあってもあきらめず、前に進んで欲しいと思います。子供達の成長を楽しみに出来ることを見つけて支えていきたいと思います。

今年もよろしくお願ひ致します。

(令和4年2月10日発行 月刊「円福」497号付録)

